

名古屋外国語大学

世界共生学部 世界共生学科

名古屋外国語大学は中部圏唯一の外国語大学です。学生4人とネイティブ教員1人の少人数授業を全学科開講するなど、本物の語学力を修得するため特色ある教育システムを通して真の国際人を目指すプログラムを実行しています。また、世界各地から400人以上の外国人教員や留学生が集う名古屋外国語大学は、「留学」「学び」「ネイティブスピーカー」「キャリアサポート」「キャンパス」という5つの領域を集約したINTERNATIONAL CAMPUSです。

世界共生学部世界共生学科とは、世界各地の人が一緒に暮らす「多文化共生社会」を意識し、3つのステップによる新たな学びに挑戦する学科です。



世界共生学科 学びの3つの柱

多文化共生の実情と課題を
現場で考察する
アクティブな経験
III グローバル
チャレンジ

II グローバル
リサーチ
言語のみでなく地域に関する
専門知識を身に着け、
その地域のスペシャリストとなる



国際ガバナンスコース
平和・自由・民主主義の理念と
現状を学び、実現を目指す
グローバル共生コース
多文化共生に必要な人間心理から
地球文明まで幅広く学ぶ



I グローバル
コミュニケーション
世界情勢について議論が
できる英語力を培い、
実践的に英語を使える人材へ

Follow us!



@nufscollabo



名古屋外国語大学

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57

TEL: 0561-75-2886 (世界共生学部事務室)

E-mail: collabo_gg@nufs.ac.jp (世界共生学部 助手)



多文化共生の実情と課題を現場で考察するアクティブな経験

世界共生学科では、多文化共生社会のもたらす課題に現実的に対処できる、「新たなグローバル人材の育成」を目指しています。そのためには国内外各地の多文化状況について「現場」での体験を積むことが望まれています。「地域創生科目」では、多文化共生の実情と課題を現場で地域の方々と考察する機会を設けることを目的としています。

目標

「現場」での経験を積んだグローバル人材になる
社会問題を「他人事」ではなく「自分事」として考える
日本国内や外国の地域における多文化共生の実情と課題を知る

構成

①事前研修

- ・6~7月/11月~12月
- ・1~3日ほど
- ・地域創生とは
- ・開発、地域開発とは
- ・フィールドワークとは
- ・社会調査法とマナー
- ・それぞれの地域を知る

②実地研修

- ・8月/2月~3月
- ・1週間~10日ほど
- ・グローバルな出来事とローカルな出来事の関係性について他者に説明できるようになる。

③事後研修

- ・地域での報告会
- ・学内での報告会
- ・レポートの提出
- ・報告書の作成
- ・合同祭でのパネル発表

実績

ベトナム：トイレ作り・英語教育、フィリピン：女性の地位向上・ボランティア、ハワイ：先住民・日系移民、中津川（馬籠・本町）：コミュニティデザイン・共助、南木曾：地域開発・インバウンドツーリズム、神戸：ラテン・共助、名古屋：ランチで世界を旅する、北海道：アイヌ文化・多文化共生・地域おこし

